

## 重 要

### 会員の皆様へ： 英文論文誌 RMB(Reproductive Medicine and Biology) 電子ジャーナル化について(経過報告)と PC メールアドレスのご登録のお願い

拝啓 日頃より本会ならびに Reproductive Medicine and Biology 誌へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、日本アンドロロジー学会、日本生殖医学会、日本受精着床学会などの英文機関誌である Reproductive Medicine and Biology (RMB) の電子ジャーナル化につきましては本年の日本アンドロロジー学会総会においてご報告させていただいているかと存じます。日本生殖医学会を中心とした編集委員会等でも議論を重ねました最終的な結果として、RMB は 2017 年 1 月より、Open Access 出版に移行することになります。PubMed Central に収載されることで PubMed での検索が可能となることをめざし、より多くの方に閲覧引用していただくことを目的としております。なお、Open Access 出版に必要な著者負担の論文出版費 (APC) に関しては当面の間、日本生殖医学会において負担していただける予定です。

また、その新しい電子投稿システムが 9 月 1 日より稼働いたしました。詳細は

<http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb.html>

または

[http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb\\_announce01.html](http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb_announce01.html)

をご確認いただき、投稿への入口は

<https://mc.manuscriptcentral.com/repmedbio>

となりましたのでご案内申し上げます。引き続き会員の皆様より一層の論文の投稿をいただけるようお願い申し上げます。

今後の導入スケジュールは、下記のように進めて参りますので、引き続き弊誌の活性化に会員諸先生方のご協力を賜りたく、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

また、近年電子メール一斉配信にて最新情報や重要なご案内もさせて頂くことが多くなりました。現在、半数以上の会員の先生方には個人のパソコン用メールアドレス(PC メールアドレス)のご登録を頂戴しておりますが、PC メールアドレスのご登録を頂戴できていない、または携帯メールアドレスや、施設代表のメールアドレス等のご登録により、本会から発信する情報が行き届かない会員の先生方もいらっしゃいます。より等しく会員サービスをご提供させていただきたく、RMB 電子化導入前までに会員の先生方の PC メールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。以下の要領にてお手続きをいただきますようお願い申し上げます。なお、ご登録がない場合は、十分なサービスを提供できない場合もございますのでその旨予めご了承ください。

なお、引き続き最新情報は本会ホームページ上で随時ご案内申し上げます。今後とも本会へのご支援を賜りたく何卒宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

記

#### <RMB 電子化>

(現在)冊子体発刊で、編集事務(投稿～採否決定)を京都大学出版会、印刷～出版までをシュプリンガー・ジャパン、発送を杏林舎に委託

↓↓

(平成 28 年 1 月発刊の 1 号 (Vol.16 No.1)より)

**完全電子化に移行。**業務委託についても Wiley JAPAN に一連の作業を一本化

Open Access 化により PubMed Central への収載を可能にし、広く RMB を閲覧引用していただくことにより活性化を諮り、最終的に Impact Factor 取得を目指す

#### <PC メールアドレスのご登録について>

ご登録がまだの方・変更されている方は、本会ウェブサイト メールアドレス登録のページ< <http://www.j-andrology.org/toiawase.htm> >にありますように、お名前ならびにメールアドレスを [andrology@chijin.co.jp](mailto:andrology@chijin.co.jp) 宛てにご連絡ください。

また、メールアドレスの登録をされていない会員の先生方には、準備が整い次第登録の依頼を個別にさせていただき予定とさせていただきます。

以上  
平成 28 年 9 月 1 日  
日本アンドロロジー学会  
理事長 市川智彦